

## 編集後記

ちょうど、プラズマ・核融合学会誌編集委員会の2年任期が終わるタイミングで、この編集後記を執筆することになりました。編集委員会では、1年目に副企画幹事、2年目に企画幹事を担当させていただきました。毎月開催する編集委員会の進行・取りまとめを務めました。この編集委員会に誘われるまでは、プラズマ・核融合学会に直接関わることがなく、右も左もわからない中、他の委員会メンバーに支えられるかたちで、なんとか次に引き継ぐことができました。直接関わることはなかったプラズマ・核融合学会ですが、全世界から容易にアクセス可能な学会誌の企画記事には、大変お世話になっていました。特にプラズマを学び始めた人にとって、これほどアクセスしやすく、なおかつ内容の充実した教材はないのではないでしょうか。そのような記事の作成や維持に、少しでも関わったことを嬉しく思います。

取りまとめとしては、大したことはできませんでしたが、新型コロナ以降、オンライン開催のみとなっていた編集委員会のうち、年3回程度は対面とオンラインのハイブリッド開催として、委員会メンバーが対面で議論する場を設けることができました。集まりやすさという点においてオンライン会議のメリットは間違いないですが、せつかく同じ時期に委員会メンバーになったのに、一度も顔を合わせないのもったいないという私の勝手な思いもあつての対面復活でしたが、遠くから名古屋まで来て参加して下さるメンバーや、企画会議も普段より意見が出やすかったようにみえ、やはり、たまの対面開催はありかなと思った次第です。

最後に、この場を借りまして、編集委員長をはじめ、同じ時期に編集委員会のメンバーとなり、お忙しい中、企画記事のご提案や委員会での質疑などでご協力いただきました皆様に、あらためまして感謝申し上げます。また、事務局の方々にも、私の不慣れた委員会活動をフォローしていただき、大変ありがとうございました。歴史ある学会の事務局の方々からは、いろいろな先生方のごこれまでの活躍や楽しいエピソードも聞かせていただきまして、この委員会活動を通じての私の一番の収穫だったかもしれません。(針谷 達)

ずいぶん久しぶりに、あるミュージシャンのコンサートに行ってきました。私が中学生の頃、その彼がパーソナリティを務める深夜のラジオ番組をたまたま聴いたことが、名前を知ったきっかけでした。自分を見つめ直すためにニューヨークに滞在して作ったという曲を聴き、当時なぜか「かっこいい」と感じたのを覚えています。映像の情報には全く触れることなく、ラジオでの語りと音楽だけで、いつの間にか彼が気になる存在になりました。大学生になって、上京して初めて買ったCDも彼のアルバムで、初めて行ったコンサートも彼の武道館ライブでした。(もう30年以上も前のことだと思うと、少し怖ろしい気がします。)

今回のコンサートは、50代・60代のおじさんおばさんで満席でした。昔の曲を聴くと、その当時の感情がなんとなく蘇ります。たいがいは苦い思い出ですが、それは辛い時にこそ音楽に救いを求めていたからかもしれません。最近の曲はあまり追えていませんでしたが、「理想がなければ人は堕ちていく」という歌詞に触れ、ブレない彼の姿勢に思わず感心してしまいました。謙虚な人柄も健在でした。御年69歳のそのミュージシャンは、最後のあいさつで「これからもいい音楽を作っていきたい」と至極当然のように語り、コンサートを締めくくりました。やっぱり、かっこいい。

さて、我々研究者にとって、学術論文はいわば「作品」です。多くの人の知的好奇心を刺激するようないい作品を、私もまだまだ探求していきたい——そんなことを改めて思わせてもらった、特別な夜でした。(佐野孝好)

### プラズマ・核融合学会 役員

会 長	花田磨砂也				
副 会 長	大野哲靖	坂本瑞樹 (推薦委員長)	学会賞・男女共同参画委員長		
常務理事	榊原 悟 (総務委員長)				
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋 (企画委員長)	井 通暁 (年会運営委員長・研究部会連絡委員長)	
	大原 渡	兒玉了祐 (広報委員長)	古閑一憲 (支部・地区研究連絡委員長)		
	坂本克也	仙波智行 (財務委員長)	高木浩一	高橋幸司 (企業展示検討委員長)	
	田中康規	鳥養祐二	村上 泉 (編集委員長)	山田弘司 (推薦委員長: 研究助成)	
	吉田麻衣子				
監 事	前田達志	波多野雄治			

### プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡 (山口大) 応 用 田中康規 (金沢大) 核融合プラズマ 居田克巳 (核融合研) 核融合炉工学 渥美寿雄 (近畿大)

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉 (核融合研) 副委員長: 鳥養祐二 (茨城大)  
エディタ: 三瓶明希夫, 重森啓介 (阪大), 高橋裕己 (核融合研), 石澤明宏 (京大), 大矢恭久 (静岡大)  
編集委員: 伊藤 悟 (東北大), 犬伏雄一 (JASRI), 太田雅人 (核融合研), 小田靖久 (摂南大), 梶田 信 (東大), 葛山 浩 (鳥取大), 河内裕一 (名大), 熊谷谷紀 (量研), 篠原正典 (福岡大), 白戸高志 (名大), 鈴木陽香 (名大), 瀬戸春樹 (量研), 曾根宏隆 (豊田自動織機), 高橋一匡 (長岡技科大), 武村勇輝 (核融合研), 中村友祐 (名大), 成田絵美 (京大), 難波慎一 (広島大), 沼波政倫 (核融合研), 信太祐二 (北大), 浜地志憲 (核融合研), 廣田 真 (東北大), 松岡清吉 (量研), 文 贊鎬 (九大), 本島 巖 (核融合研), 柳生義人 (九大), 山崎広太郎 (広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第101巻第8号

編集・発行  
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷  
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年(令和7年)8月25日  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485  
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。